

科目名		授業形態		担当教員名	
視能訓練学Ⅲ		講義・演習		山本 雅美・谷口 誠典・荒木 渚	
時間数（単位数）		授業回数		年次	開講時期
60 時間 （ 2 単位）		30 回		2 年次	後期
授業の目的・概要					
視能訓練士は眼科検査のほぼ全般を担当するが、流れ作業の検査では質の高い視能矯正を提供することはできません。本科目では、患者の主訴や病歴から疾患を想起し、患者のニーズに応じた視能検査の立案と実施、評価ができるよう、症例データを基に課題を進めていきます。					
授業の到達目標					
①症例の病態分析と評価が出来る。 ②患者の不安な気持ちや状態に配慮ができる。 ③患者が把握しやすい説明ができる。 ④病態分析により適切な検査が行える。					
授業計画					
回	内容				
1	POSによる視能矯正		16	不同視弱視	
2	医療面接		17	不同視弱視 【演習】	
3	先天性上斜筋麻痺		18	外転神経麻痺	
4	先天性上斜筋麻痺		19	外転神経麻痺	
5	先天性上斜筋麻痺 【演習】		20	外転神経麻痺 【演習】	
6	間欠性外斜視		21	滑車神経麻痺	
7	間欠性外斜視		22	滑車神経麻痺	
8	間欠性外斜視 【演習】		23	滑車神経麻痺 【演習】	
9	屈折性調節性内斜視		24	医療面接・OSCEの練習（1）	
10	屈折性調節性内斜視		25	医療面接・OSCEの練習（2）	
11	屈折性調節性内斜視 【演習】		26	医療面接・OSCEの練習（3）	
12	小児の視能評価		27	OSCE（客観的臨床能力試験）	
13	小児の視能評価		28	OSCE（客観的臨床能力試験）	
14	小児の視能評価 【演習】		29	OSCE（客観的臨床能力試験）	
15	不同視弱視		30	総括	
成績の評価方法と基準					
種別	割合	評価基準・その他備考			
筆記試験	30%				
レポート・課題					
小テスト					
平常点					
その他	70%	OSCEによる評価			
自由記載					
教科書					
書名			著者・編集者名		出版社名
視能学 第3版			小林義治 他編		文光堂
眼科検査ガイド 第3版			根木昭 監修		文光堂
視能学エキスパート 視能訓練学			岩山暁美 他編		医学書院
自由記載					
参考文献					
書名			著者・編集者名		出版社名
なし					
自由記載					
備考					